えこだんLASSELE

# 蓄熱電気暖房器

| 取扱説明書 | 取付工事説明書 |
| --- | --- |
| P1-[1]~P10-[10] | P11-[11]~P18-[19] |

## LMS-1575HJ-G
## LMS-2361HJ-G

**臭いについて**

●設置初期の蓄熱時に、内部部品の湿気の影響により、臭いや煙の発生が見られる場合がありますが、異常ではありません。
※臭いや煙が発生した場合、窓を開け、部屋の換気を十分に行ってください。

ラッセル販売株式会社

この取扱説明書は大切に保管してください。
設置基準をお守りください。

再生紙を使用しています

# 1. はじめに

このたびは、蓄熱電気暖房器「えこだんLASSELE」をお買上げ頂き、まことにありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くためにもこの取扱説明書はお使いになる前に必ずお読みください。
また、いつでも使えるよう**保証書と一緒に大切に保管**しておいてください。
下記の使用によって生じた事故、故障等は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

**① 操作手順・方法を間違ったとき。**
**② 使用を越えた操作によるもの。**
**③ 不適切な保管・管理方法を取っていた場合。**
**④ 改造を施して使用した場合。**
**⑤ 天災・火災によるもの。また、水をかけたりした場合。**
**⑥ その他、外部的理由による場合。**

# 目 次


1. はじめに ……1
2. 安全上の注意 ……2
3. 使用上の注意事項 ……3
4. 操作部と放熱コントローラーの名称と役割 ……5
5. 使いかた ……6
5-1. 現在時刻を設定する……6
5-2. 蓄熱量を設定する……7
5-3. 残熱量の見かた……7
5-4. 追焚き運転をする…… 8
6. お手入れのしかた……9
7. えこだんLASSELE標準仕様……9
8. サービスを依頼されるまえに……10
9. こんな時はすぐに ……10
10. サービスと保証……10
11. えこだんLASSELEの構造・電気配線……11
12. 取り付け工事（工事をするまえに）……12
13. 工事のまえに確認してください（※品番を確認してください）…… 13
14. 取り付け工事（転倒防止金具の取り付け・位置決め・高さ決め）…… 14
15. 取り付け工事（電気配線・組み込み）…… 15
16. 取り付け電源接続（電気回路図）…… 17
17. 安全装置…… 17
18. 動作確認チェックシート……17
19. 施工工具・検査機器…… 18

## 2. 安全上の注意

### ⚠ 警 告

●ここに示した注意事項は、お使いになる方、取り付け工事をする方、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぐため、安全に関する重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから、本文をお読みになり、記載事項を必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警 告 | 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。 |
| ⚠ 注 意 | 誤った取り扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。 |

●本文中に使われる“図記号”の意味は次の通りです。

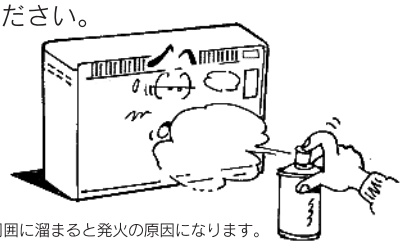
| | |
|---|---|
| 絶対行わないでください。 | 分解をしないでください。 |
| 必ず指示に従ってください。 | 電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
| 触らないでください。 | 必ずアース工事を行ってください。 |

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 据え付けの注意事項

### ⚠ 警 告

●可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。

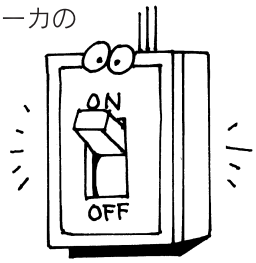


※万一ガスが漏れて機器の周囲に溜まると発火の原因になります。

●据え付けは、お買い上げの販売店または専門の工事店に依頼してください。

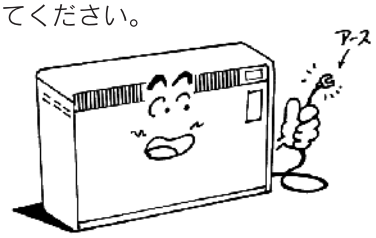
※ご自分で据え付けされ不備があると、漏電や、感電、火災の原因になります。

●設置場所によっては漏電ブレーカの取り付けが必要です。




※漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因となります。

●アース工事を行ってください。




※アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

### ⚠ 注 意

●暖房器以外の目的で使用しないでください。
※この暖房器は居室を暖房するために作ってある製品です。
他の目的で使用しないでください。

●じゅうたん、畳の上等に直接設置しないでください。

●必ず転倒防止金具を取り付けてください。
※固定されていないと地震等により本体が倒れてケガをすることがあります。

**●長期使用製品安全点検制度について**

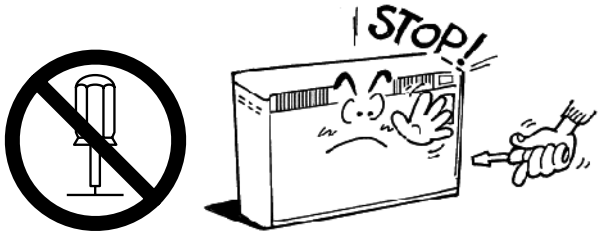
平成21年4月1日から、長期間の使用に伴い生じる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、特に重大な危害を及ぼすおそれの多い9品目について「長期使用製品安全点検制度」（点検制度）が始まりました。本制度は、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じ、特に重大な危害をおよぼすおそれの多い屋内式ガス瞬間湯沸器など、ガス、石油、電気を使用する設置式の9品目の製品を安全に使い続けるための制度です。また、経年劣化による重大事故発生率は高くないものの、事故件数が多い扇風機や洗濯機などの家電製品5品目については、点検制度ではなく、標準使用期間と経年劣化の注意を促す「長期使用製品安全表示制度」（表示制度）が始まりました。当社製品は9品目および5品目には該当しておりませんが、長期使用による事故を防止するため、定期的な点検等の実施をお奨めしております。

# 3. 使用上の注意事項

## 警　告

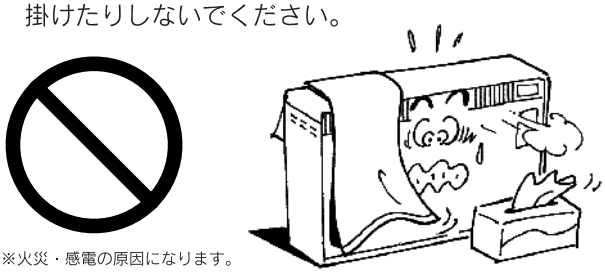
●取り付け工事後、初日の運転は、必ず窓を開けて換気してください。

●分解、改造は絶対しないでください。




※発火・感電・やけど等の危険があります。(暖房器内は非常に高温です。)

●カーテン等の燃えやすい物の近くや、タオル等を掛けたりしないでください。



※火災・感電の原因になります。

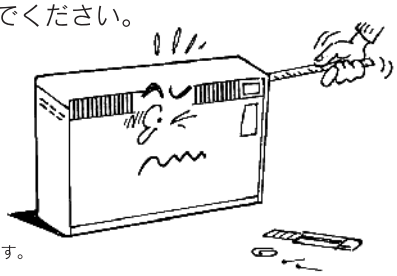
●水をかけたり、こぼしたり、湿気の多いところでの使用はしないでください。

※故障や感電の原因になります。

●暖房器の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。

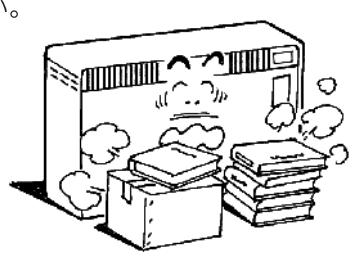
※暖房器の過熱により火災の原因になります。

●暖房器の吹き出し口や吸い込み口に金属等の異物を入れないでください。



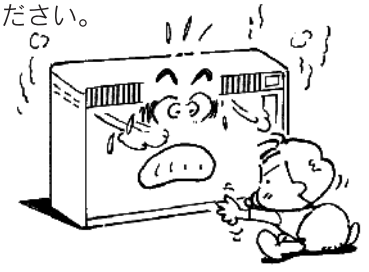
※感電・火災の原因となります。

●暖房器の吹き出し口や吸い込み口を塞がないでください。

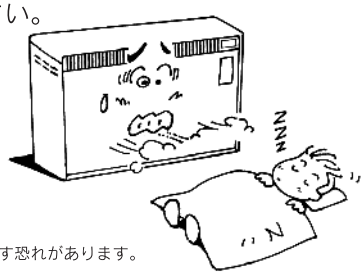


※火災の原因となります。

●幼児や体のご不自由な方は付き添えなしのご使用はお控えください。

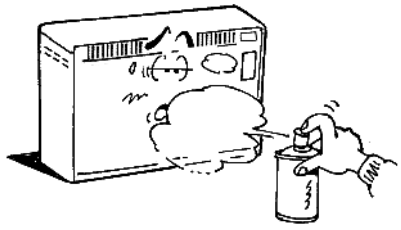


●暖房器の温風が直接あたるところで寝込まないでください。



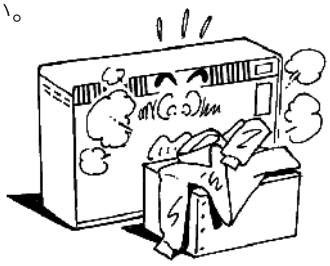
※脱水症状や低温火傷を引き起こす恐れがあります。

●暖房器の周辺にスプレー缶(引火物)及び燃えやすい物を置いたり、使用しないでください。



※火災の原因になります。

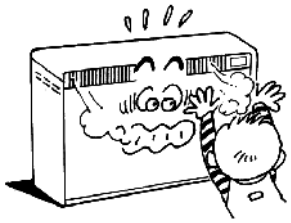
●暖房器の近くに布団、衣類等の燃えやすい物を置かないでください。



※火災の原因になります。

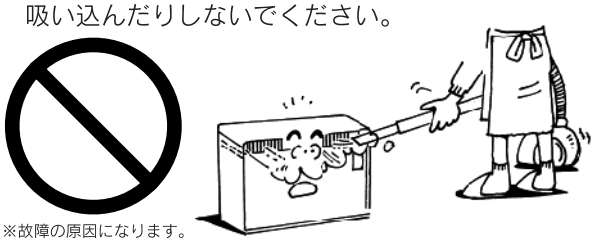
## 警　告

●運転中は、運転操作部以外は本体、特に吹き出し口に触れないでください。



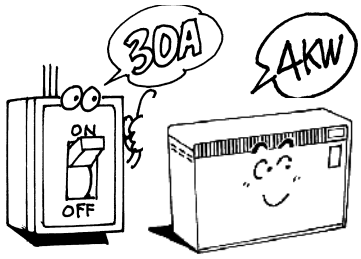
※火傷の恐れがあります。

●運転中は吹き出し口や吸い込み口を掃除機等で吸い込んだりしないでください。



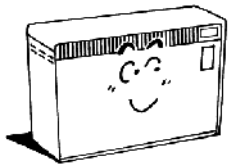
※故障の原因になります。

●ブレーカは定格容量（アンペア）に適した物をご使用ください。



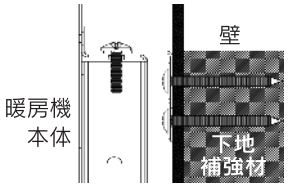

※故障や火災の原因になります。

●メンテナンスの時は必ずブレーカを「切り」にしてください。



※感電の恐れがあります。100Vは電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

●転倒防止金具で本体が固定されているか確認する。
固定されていないと地震等により本体が倒れてケガをすることがあります。
（固定されていない場合は販売店にご相談ください）

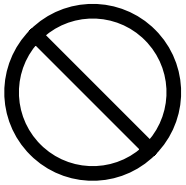


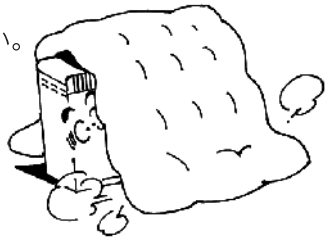

●暖房器が転倒した場合の処置
万が一暖房器が転倒した場合、基本的には転倒センサーの作動により電源が遮断されますが、念のため、お手をふれずに電源をお切りください。

※200Vはブレーカを切る。
100Vは電源プラグをコンセントから抜く。
また、すみやかに販売店か設置工事店に連絡してください。

## 注　意

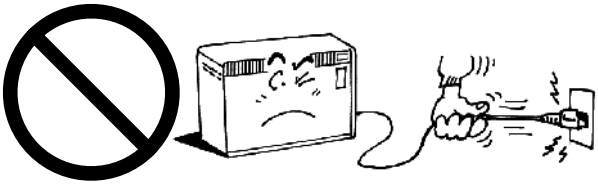
●暖房器以外の目的で使用しないでください。





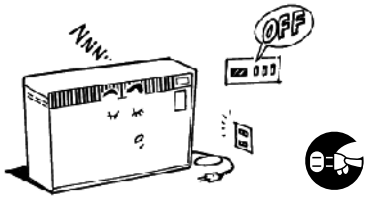
※この暖房器は居室を暖房するために作ってある製品です。
他の目的での使用はしないでください。

●電源コード等を引っ張ったり、無理な事はしないでください。



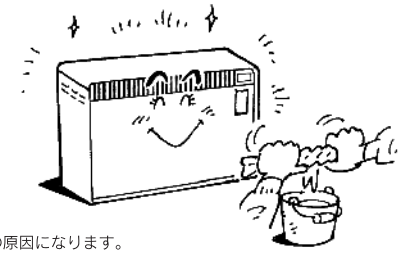
※感電や火災の恐れがあります。

●長時間ご使用にならないとき、動作しないとき、異常が感じられるときは、ブレーカを「切り」にしてください。




※100Vは電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

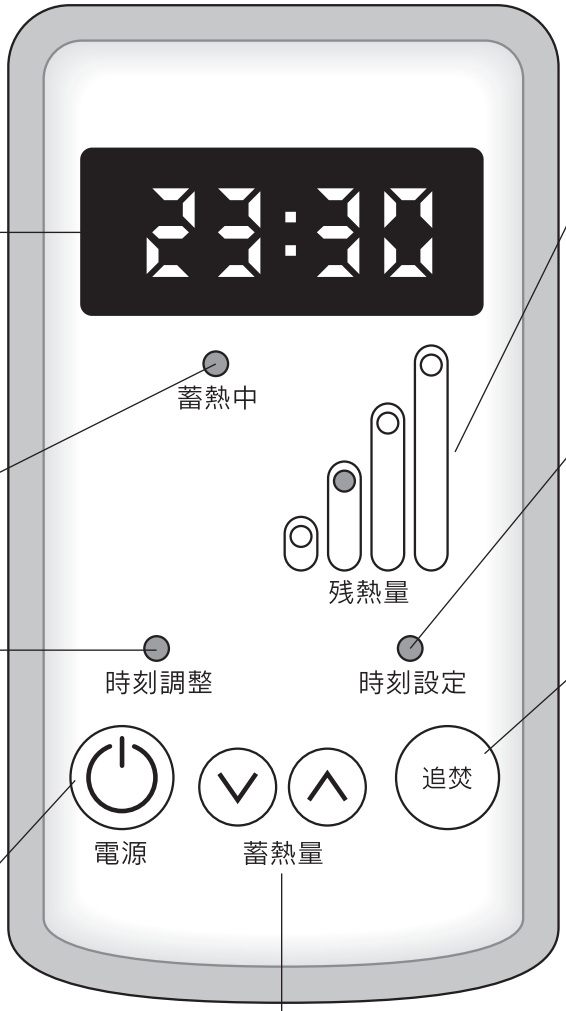
●暖房器の周辺は清潔にしてください。



※ほこりが溜まると火災の原因になります。

# 4. 操作部と放熱コントローラーの名称と役割

## ■操作部




**時刻表示**
**蓄熱量表示**
- ●現在時刻を表示。
- ●異常発生時エラーを表示。
- ●蓄熱量設定ボタンを押すことで、蓄熱量が表示されます。

**蓄熱中ランプ**
- ●暖房器が蓄熱している間点灯。

**時刻調整スイッチ**
- ●現在時刻の修正を行います。

**電源ボタン**
- ●蓄熱を開始または停止する場合に[電源]ボタンを押します。

**残熱量ランプ**
（残熱量の目安）
- ●蓄熱量の残熱量がどれだけあるか表示します。（4段階に表示）

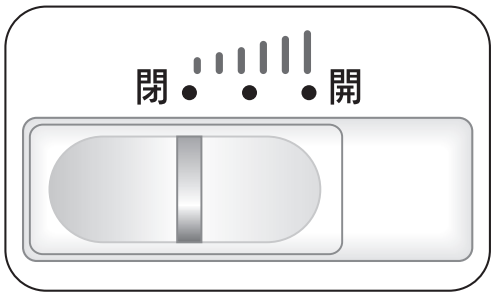
**時刻設定スイッチ**
- ●時刻設定を行います。

**蓄熱追焚き運転ボタン**
- ●ボタンを押すと、2時間蓄熱運転を行います。再度押すと解除されます。

**蓄熱量設定ボタン**
- ●蓄熱量設定ボタンを押すと、時刻表示が蓄熱量表示になります。
  上下の矢印ボタンで蓄熱量を設定します。

## ■放熱コントローラー

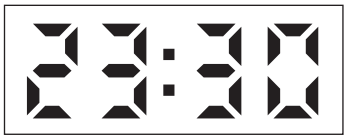
放熱量は本体上部の放熱コントローラーのつまみを動かして調整します。
6段階の設定が可能です。

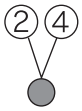


# 5. 使いかた

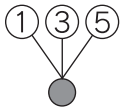
## 5-1. 現在時刻を設定する

蓄熱暖房器の機能を正しくお使いいただくために、はじめに時刻表示を現在時刻に合わせます。

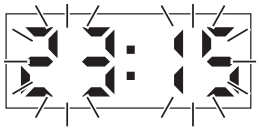
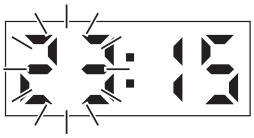
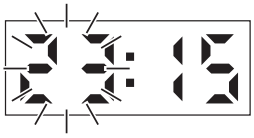
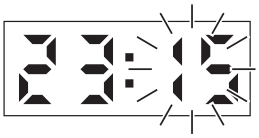
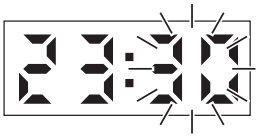
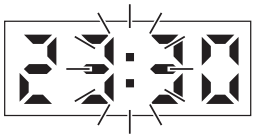




時刻調整



時刻設定

| | |
|---|---|
| 例 23時15分を23時30分に変更します。 |  点滅する |
| ① 電源ボタンを押します。<br>時刻設定スイッチを押します。 |  点滅する |
| ② 時刻調整スイッチを押して時間を合わせます。<br>押し続けると数字は早く変わります。 |  点滅する |
| ③ 時刻設定スイッチを押します。 |  点滅する |
| ④ 時刻調整スイッチを押して分を合わせます。<br>押し続けると数字は早く変わります。 |  点滅する |
| ⑤ 時刻設定スイッチを押せば時刻表示部の中間部が<br>点滅し時計が動き始めます。 |  点滅する |

## 注　意

- ●必ず現在時刻を設定してください。設定しないと蓄熱暖房器が正しく機能しません。
- ●誤った時刻を設定すると、思わぬ電気料金がかかることがありますので現在時刻を正しく合わせてください。(ときどき現在時刻表示を確認してください)
- ●ハサミの先や針の先などで押すと故障や感電の恐れがあります。
  「時刻調整」及び「時刻設定」スイッチはボールペンの先などで押してください。

## 5-2. 蓄熱量を設定する

暖房を行うために蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。

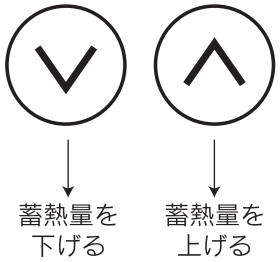
| 蓄熱量 | |
|---|---|
| 設定基準 | 蓄熱比率 |
| 真冬 | 100% |
| 早春・晩秋 | 60% |
| 春・秋 | 20% |

［ご注意］
初めて使用する場合や、長時間運転を停止した後、再び使用する場合は初日の蓄熱量を低めに設定してください。これは蓄熱暖房器内部の湿気を取り除くためです。

### ●蓄熱量設定

蓄熱量ボタンを押すと時刻表示が蓄熱量表示に変わります。
蓄熱量をボタンの上下で設定します。

1）ボタンの上下で温度を調整することで、蓄熱量を無段階に調整することができます。季節・気温等に合わせ設定してください。（上記の表を参考にして設定してください。）
2）蓄熱は深夜の23時より翌日朝7時までに行われます。蓄熱中は蓄熱中ランプが点灯します。




### ●蓄熱開始･停止

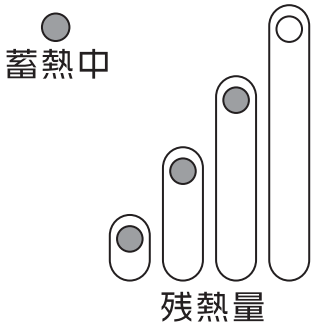
1）蓄熱を開始または停止する場合は［電源］ボタンを押してください。（長時間停止する場合は200Vブレーカを切ってください。）

### 注　意

●蓄熱は設定したその日の夜間に行われますので、最初の暖房は翌日から可能となります。
●蓄熱量の設定は夜23：00（P.M.11:00）時点の［蓄熱量］ボタンの設定で決まります。
●時間設定を間違った場合は蓄熱ができない場合があります。

## 5-3. 残熱量の見かた

表示ランプの点灯状況で
残熱量の目安を判断できます。




### ●残熱量 表示ランプ

1）表示ランプ4個全灯の場合はほぼ100%
2）表示ランプ2個点灯の場合は … 約50%
3）全く点灯していない場合は……大体0%

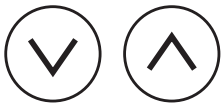
※これはあくまでも目安です。

残熱量の目安

約100% ● ● ● ●
約 50% ● ● ○ ○
約 0% ○ ○ ○ ○

## 5-4. 追焚運転をする

時間帯別電灯契約でお使いの場合、蓄熱量が不足した時に、昼間の時間帯で蓄熱を行うことができます。

| | |
|---|---|
| ●蓄熱量設定<br>蓄熱量ボタンを押して蓄熱量を設定します。 |  <br>蓄熱量 |
| ●蓄熱追焚き運転の開始<br>「蓄熱追焚き運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが点灯し、2時間蓄熱追焚き運転になります。 | |
| ●蓄熱追焚き運転の解除<br>再度「蓄熱追焚き運転」ボタンを押すとボタンの表示ランプが消え、蓄熱追焚き運転が解除されます。（2時間で自動解除されます。） | |

### 注　意

●深夜電力契約でお使いの場合には通電時間帯以外に追焚き運転することはできません。（契約内容については電力会社へお問い合せください。）
●時間帯別契約でお使いの場合、昼間時間帯に蓄熱追焚き運転を頻繁にご使用になると電気代が高くなります。ご注意ください。

# 6. お手入れのしかた

長期間安全に使用するためにも1カ月に一回程度、お手入れをお願いします。

**本体のお手入れ**

●200Vブレーカを切り、100Vの電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
●絶対水をかけて掃除をしないでください。(漏電、感電や故障の原因になります。)
●柔らかい布を少しぬるめの水に浸し、固く絞ってから周囲を拭いてください。
　特に背面は綿ぼこり等がたまりやすくなっていますので良く拭き取ってください。
●中性洗剤を使用する場合、必ずきれいな乾いた布で水気を完全に拭き取ってください。
●室内のほこりが焼けこげて、前面パネルに付着することがあります。時間がたつと拭き取れなくなります。

**お手入れ及びクリーニングの後、安全のため次の事項を必ず点検してください。**

●必ず水を完全に乾かした後、手の水気も完全に拭き取り電源プラグを差し込んでください。

**⚠ 注　意**

⚠ 内部の清掃は、設置工事店または専門の工事店に依頼してください。
感電・火傷などをする可能性があります。

# 7. えこだんLASSELE 標準仕様

| 型 式 | | | LMS-1575HJ-G | LMS-2361HJ-G |
|---|---|---|---|---|
| 放熱・蓄熱方式 | | | 8時間蓄熱 | |
| 蓄熱 | 蓄熱量 | kWh | 11.34 | 17.00 |
| | | kcal | 9,236 | 13,176 |
| | | MJ | 40.82 | 61.20 |
| 定格容量 | 定格周波数 | | 50/60Hz | |
| | 定格消費電力 | 単相200V | 1,575W/200V | 2,361W/200V |
| | | 単相100V | 3W/100V | 3W/100V |
| 外形寸法　横幅×高さ×奥行 W×H×D(mm) | | | 666×691×199 | 858×691×199 |
| 総重量(kg) | | | 98 | 143 |
| 蓄熱体の重量(kg) | | | 64 | 95 |
| 蓄熱体の数 | | | 12 | 18 |

| | |
|---|---|
| 蓄熱量調整器 | ●電子式 117℃ OFF |
| 安全装置 | ●温度過昇防止器　●転倒防止金具、転倒時電源遮断回路 |
| 蓄熱体 | ●酸化マグネシウム（純度92.8%） |
| 発熱体 | ●⌀11.0　3本 / ⌀8.0　3本 |
| 断熱材 | ●テクノサーム　●カウルブラケット　●セラボード |
| 付属品 | ●転倒防止金具一式 |
| 蓄熱・放熱設定 | ●蓄熱量：0～100% 各段階設定 |

# 8. サービスを依頼されるまえに

サービスをお申し付けになるまえに次の事をお調べください。

## ■ 蓄熱されない場合

●200Vのブレーカが《入》になっていますか？
●蓄熱量がOFFになっていませんか？
●現在時刻と本体の時計の時刻が一致してますか？

# 9. こんな時はすぐに

次の様な時はすぐに電源プラグを抜いて設置工事・販売店にご連絡ください。

●電源プラグやコードの被覆が破れているとき。
●スイッチが正確に作動しないとき。
●電源プラグやコードが異常に熱いとき。
●ブレーカがたびたび落ちるとき。
●洪水・台風など天災で機器が水没したとき。
●運転中に異常音がでるとき。
●エラー表示がでたとき。
●転倒したとき。
●その他異常を感じたとき。

※この蓄熱暖房器は自己診断機能もっています。暖房器に異常が発生した場合はデジタル表示部にエラーコードが表示されます。この場合、自動的に蓄熱と強制放熱暖房運転を停止しますので、設置工事・販売店に連絡してください。

## ■ エラーコード

| 表示 | 内容 | エラーの時運転方法 | 解除 |
|---|---|---|---|
| E-01 | ●蓄熱レンガ温度異常 ●蓄熱センサーが接続されてない ●蓄熱センサーが250℃以上を感知 | ヒータOFF | リセット |
| E-10 | ●蓄熱レンガ温度異常<br>●蓄熱センサーが-20℃以下を感知 | | リセット |
| E-03 | ●地震センサーが作動感知（自動復帰） | | 自動 |
| E-04 | ●23:00~7:00の間<br>●蓄熱量つまみONで200Vが加圧されていない<br>●漏電遮断器又は過昇防止器が作動している | | リセット<br>※未使用時(漏電遮断器を切っている時) |

リセット方法
●電源ボタンを押す
●100Vプラグを抜いて再び差し込む
（※リセットはエラー表示原因を解消の後、行ってください。）

# 10. サービスと保証

**サービスをお申し出になるとき**

**「サービスを依頼されるまえに」**に従って調べて、なお異常のあるとき及び**「こんな時はすぐに」**のようなときは、お買い上げの設置工事・販売店にご連絡ください。

**保証書 保証期間について**

●保証書は所定項目への記入と販売店名があるか確認の上、お買い上げの販売店よりお受け取り頂き大切に保管ください。
●保証期間内に万一故障した場合は保証書の記載内容により、修理いたします。
●保証期間経過後の修理については、お客様のご要望により修理させて頂きます。（有料）修理については販売店にご相談ください。
●パーツの供給は生産中止より10年といたします。（ただし、シーズヒーターは15年）

## ■ 保証期間

●指定工事店以外の取り付けの場合（蓄熱部：2年間／制御部：2年間）
●ラッセル販売指定工事店の取り付けの場合（蓄熱部:5年間／制御部：2年間）

ご不明な点は（お買い上げの／お近くの）**設置工事・販売店**または**お客様ご相談窓口**にお問い合わせください

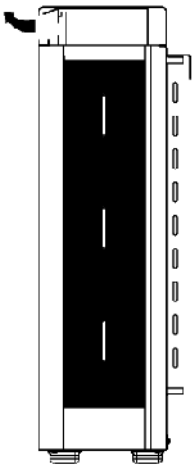
サービスと保証については お客様ご相談窓口に お問い合わせください

**フリーダイヤル:0120-78-4511(9:00~17:00)**
上記時間外は留守番電話での対応となります

# 11. えこだんLASSELEの構造・電気配線

## ■ えこだんLASSELEの構造

蓄熱された熱エネルギーは、主に輻射熱によって放熱されます。



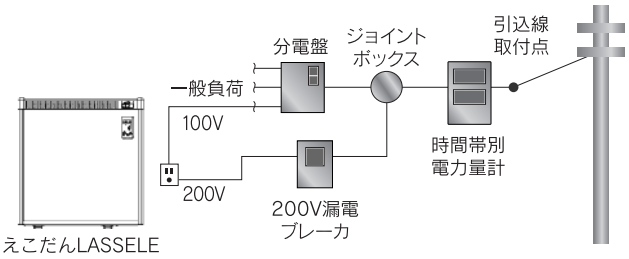
**蓄熱レンガ**
冷めにくいマグネシアレンガの蓄熱体。

**断熱材**
優れた断熱性で蓄熱体の熱をガードします。

**ヒーター**
交換を考慮した配置。

## ■ 電気配線

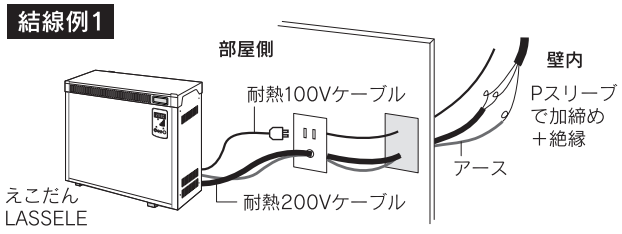
**時間帯別電灯契約**（機器で通電をOn・Off）



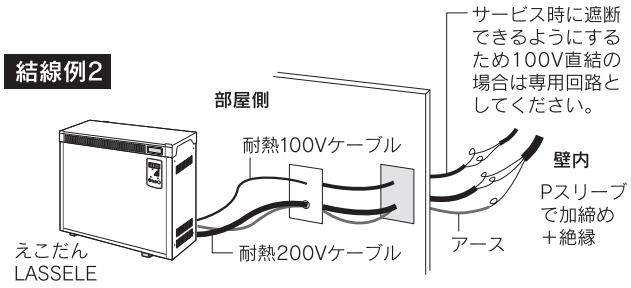

**屋内配線（200V 3芯）ケーブルと遮断器の定格電流**

| 機種 | VV | CV | 遮断器 | 200V結線 Pスリーブ | 本体付属 耐熱ケーブル |
|---|---|---|---|---|---|
| LMS-1575HJ-G | 直径1.6mm | 2.0mm² | 15A | P5.5 | 2.0mm² |
| LMS-2361HJ-G | 直径2.0mm | 3.5mm² | 20A | P8 | 3.5mm² |

**結線例1**




**結線例2**

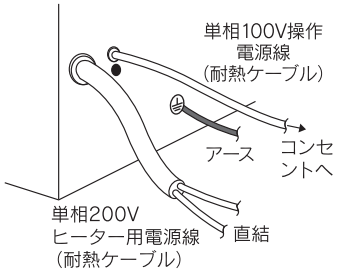



※ケーブルは暖房器本体に触れないよう配線してください。
※200V結線はPスリーブを使用してください。

## ■ 幹線と耐熱ケーブルの接続

アース工事は必ず行ってください。屋内配線3芯アース線とアース線を結線してください。
また、直結配線はPスリーブ＋絶縁処理をして、コンセントボックスの中へ収納してください。
※100Vは直結でも可能です。
※コンセントボックスが機器の背面にある場合、
　コンセントプラグが納まらないので、100Vは直結となります。

**えこだんLASSELE本体背面**




## ■ 200Vの接続

アース工事は必ず行ってください。屋内配線3芯アース線とアース線を結線してください。また、直結配線はPスリーブ＋絶縁処理をして、コンセントボックスの中へ収納してください。
※100Vは直結でも可能です。

# 12. 取り付け工事（工事をするまえに）

## ※注意事項（施工者の方へ）

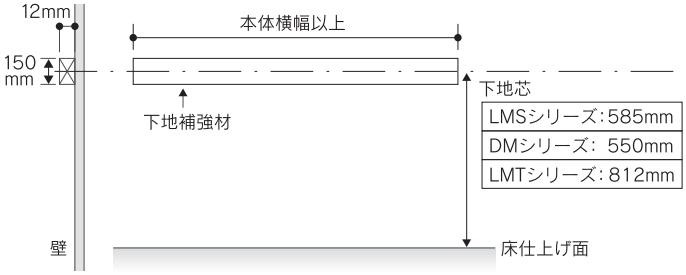
この製品は、98kg～143kgと重量物です。一度設置すると移動するのには困難を要します。
壁補強と床下補強が必要ですので予めご確認をして戴き、お客様とご相談の上設置場所をお決めください。

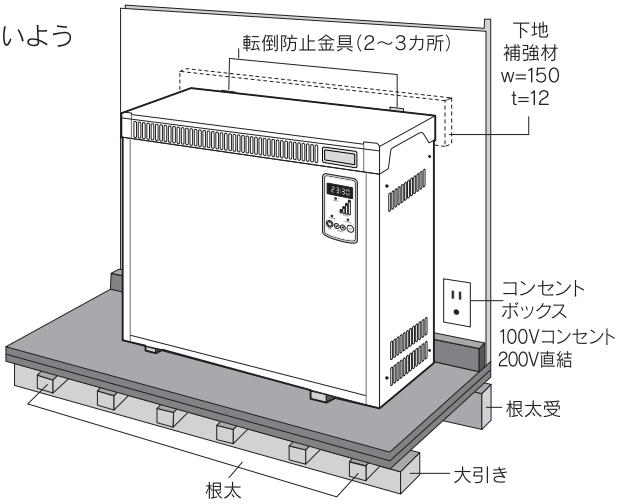
●壁・床・家具等に傷を付けないように必ず養生をした上で作業してください。
●本体の表面は高温です。本体と壁・棚・家具等との離隔距離は下図の寸法以上お取りください。
●畳・カーペットの上には直接設置しないでください。
●蓄熱レンガは必ずカス等の付着物を除去してください。（蓄熱したときに異臭の原因になります。）
●蓄熱レンガは水に濡れていないかご確認ください。
（濡れた状態で組み込むと水蒸気が発生して内部の腐食の原因になります。）
●ヒーター・断熱材は特に慎重に扱ってください。（変形・破損したものは使用しないでください。）
●転倒防止金具は必ずお付けください。（13ページ参照）
●取り付け工事の注意事項及び動作確認チェックシートに基づいて作業してください。
●機器内外は必ず清掃してください。

## ■ 取り付けと補強

蓄熱暖房器は重量物（LMSシリーズで98kg～143kg）です。設置後は容易に移動ができませんので、据え付けは慎重に検討し、床下地の補強と壁取り付け下地材の施工をお願いします。

※根太など、工法により異なります。補強は必要に応じて施してください。
※転倒防止金具は本体背面の下地補強材の渡してある壁へ固定します。
※必ず壁にも補強を入れてください。
※畳やじゅうたん、カーペットの上に配置する場合は、直接触れないよう
木台の上に本体を置き、水平にしっかり固定してください。
※クロスやカーテンは熱で変色しないもの、
防炎仕様のものをお使いください。



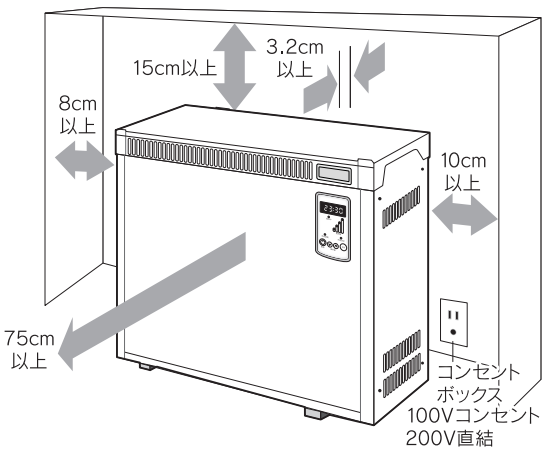




## ■ 設置スペース

本体表面温度は高温になりますので、右図のクリアランス（スペース）の確保が必要です。
なお、正面向かって右側は、メンテナンスを考慮して10cm（以上空けてください。また、正面（前面）は、熱の対流のため75cm以上の空間が必要です。

※100Vケーブルの長さ1.5m。
※吹き出し口は決してふさがないでください。

**安全に点検するため**
コンセントボックスは機器の右側に。
機器と重ならないようにしてください。



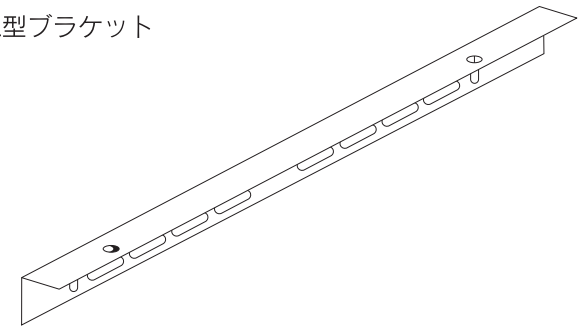
# 13. 工事のまえに確認してください。（※品番を確認してください）

## ■ 本製品の同梱付属品

○取扱説明書・取付け工事説明書（1部）
○保証書　（1部）
　転倒防止金具

○印の部品は外ビニールカバーの中に入っています。
●印の部品は右側板を外してください。中に入っています。

| | LMS-1575HJ-G | LMS-2361HJ-G |
|---|---|---|
| パーツ名 | 数 量 | 数 量 |
| L型ステー止めボルト M5×L16 | 2本 | 3本 |

| パーツ名 | 数量 |
|---|---|
| ○L型ブラケット  | 1個 |
| L型ブラケット止め<br>タッピングビス M4×L50 | |
| LMS-1575HJ-G | 4本 |
| LMS-2361HJ-G | 4本 |

●ビス類

**※重要**
取付前に壁下地材の有無を確認してください。もし無い場合、耐震施工が出来ませんので施工会社様へ連絡してください。

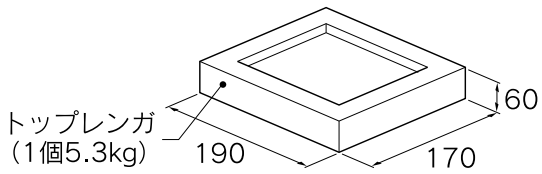
**※取り付け手順**
Ｌ型ブラケットを本体背面の下地材の渡してある壁へ固定します。
胴縁スタット等、工法により異なりますので補強は必要に応じて施してください。

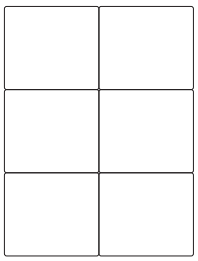
固定するタッピングビスの本数は左の表によります。

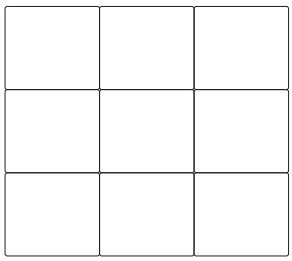
## 蓄熱レンガについて（別梱包付属部品）

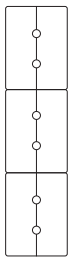
※使い始め、レンガの焼ける臭いがしますが故障ではありません。換気を十分に行ってください。

| 機　　種 | LMS-1575HJ-G | LMS-2361HJ-G |
|---|---|---|
| トップレンガ | 12個 | 18個 |
| 重 量（kg） | 64 | 95 |





LMS-1575HJ-G

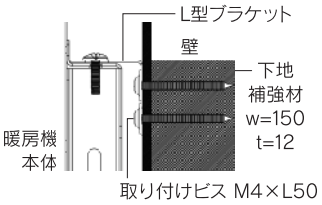

LMS-2361HJ-G

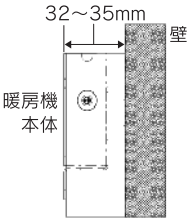


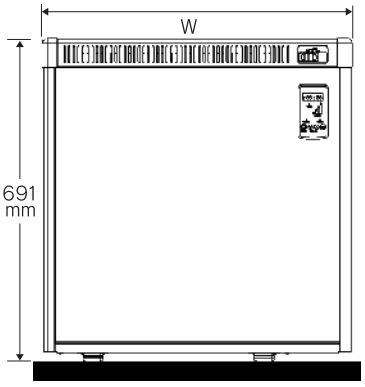
# 14. 取り付け工事（転倒防止金具の取り付け・位置決め・高さ決め）

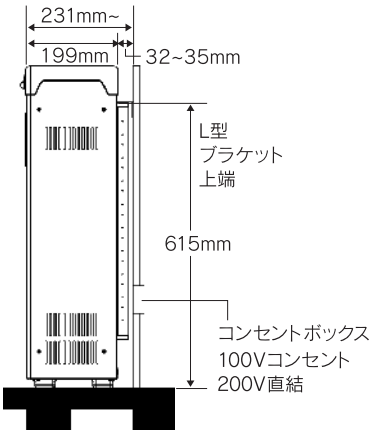
## ■ 転倒防止金具（右側板の中に入っています）

えこだんLASSELEの免震構造は、付属の転倒防止金具を確実に取り付けて完成します。
下記の固定方法は必ずお守りください。
※取り付けビスの数は決められています。※（表1）参照。




**●L型ブラケットを止めるビスの本数**

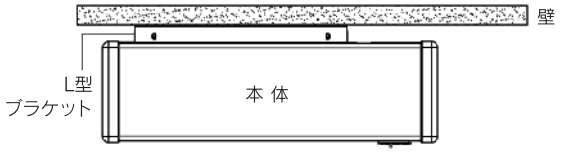
| 機 種 | W(mm) | ビスの数(本) |
|---|---|---|
| LMS-1575HJ-G | 666 | 4 |
| LMS-2361HJ-G | 858 | 4 |

（表1）

## ■ 位置決め

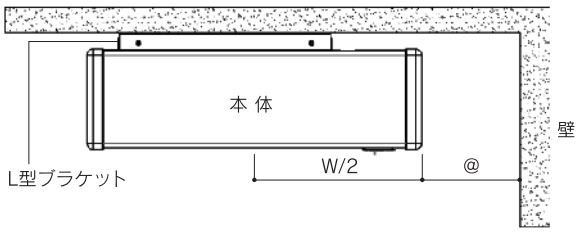
**① 中心決め**

L型ブラケットの中心マークを合わせる。




**② 離れ決め**

左右離れ寸法@　L型ブラケットの
中心マークをW/2＋@に合わせる。

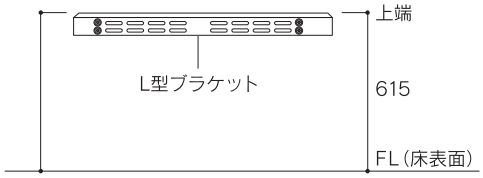



| 機 種 | W(mm) | W/2(mm) |
|---|---|---|
| LMS-1575HJ-G | 666 | 333 |
| LMS-2361HJ-G | 858 | 429 |

**[@寸法]**●右は100以上、左は80以上となります。

## ■ 高さ決め

L型ブラケットの中心の上端をFL（床表面）＋615の
位置で、左右の水平を取って、ビスを止めをする。




**[水平の取りかた]**

●水準器
●左右の上端寸法　FL（床表面）＋615

※ビスの本数は決まっています。（表1参照）

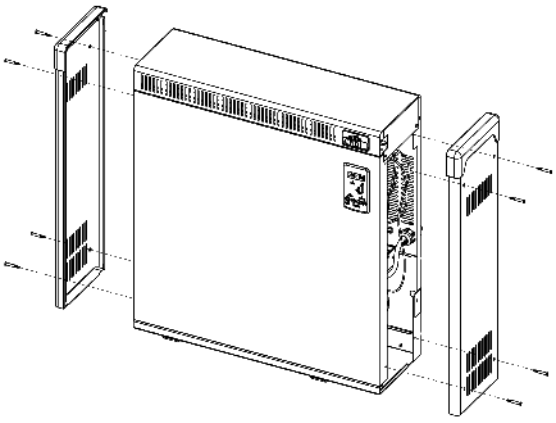
# 15. 取り付け工事（電気配線・組み込み）

## ■ 転倒防止金具の位置を確認

本体の取り付け、ケーブルの接続、レンガの組み込みの前に本体を分解します。
壁床などに傷をつけないように毛布等で養生をし、注意して作業してください。
※軍手は必ず着用してください。

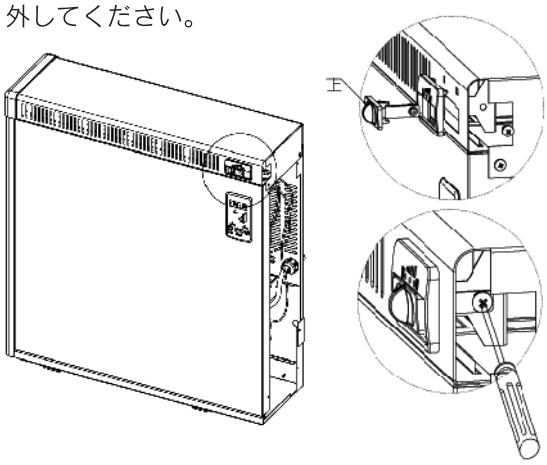
### ❶ 側板の取り外し

〈右側板は外れている〉
ネジ（各4個）を外し、側板を取り外します。



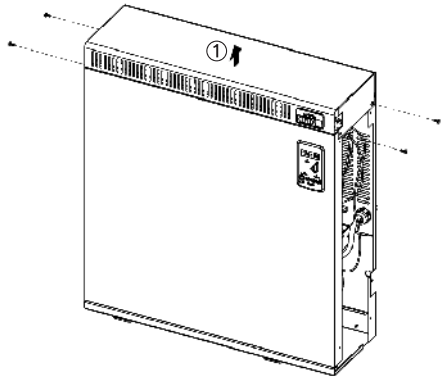
### ❷ ネジの取り外し

風量調節器固定ネジを図のように
外してください。



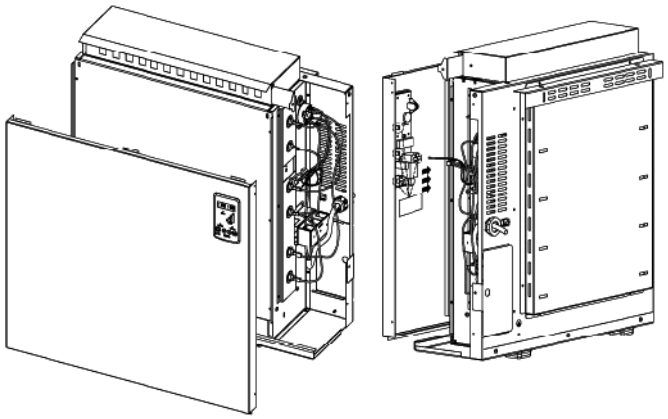
### ❸ 上板の取り外し

左右に固定されているネジ（4個）を外し、
上板（①）を取り外します。



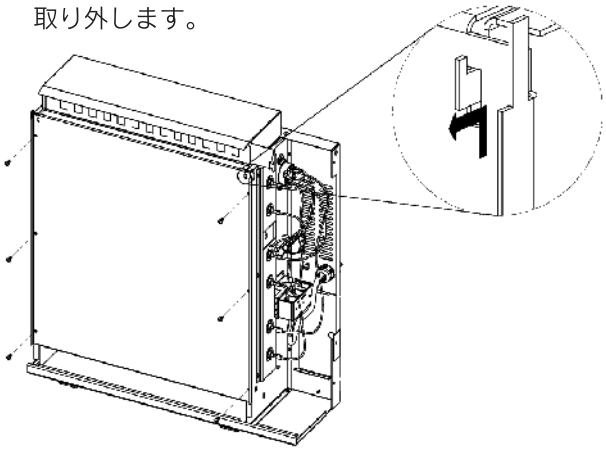

### ❹ 前面板の取り外し

前面板を取り外します。



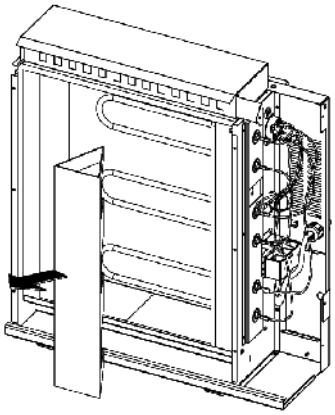
### ❺ 前面板を持ち上げる

前面板の図のように持ち上げて
取り外します。



### ❻ ヒーター固定パットの取り外し

運搬保護用パットを取り外します。



# 15. 取り付け工事（電気配線・組み込み）

## ❼電気配線

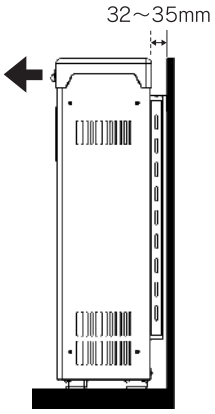
ケーブルの接続をします。※11ページ参照。

## ❽取り付け

転倒防止金具へ取り付けをします。
※14ページ参照。

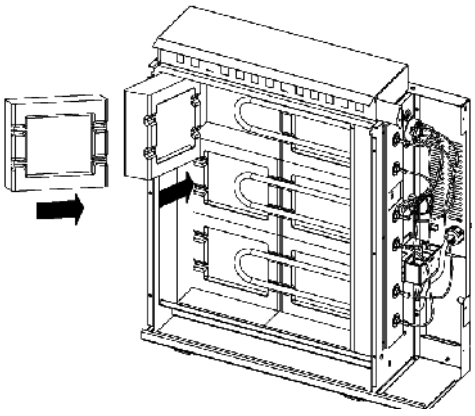
●水準器で水平と垂直をチェックしたあと、下部を2mmほど前面に出して、風が上向きに出るようにします。

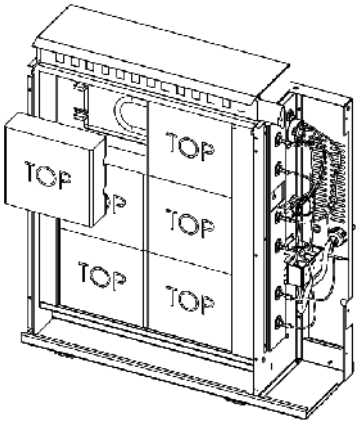
（フロアに直接、熱風が当たらないように、前面下部を2mm前方に出してください。）




## ❾レンガの組み込み

レンガは3段に組み込みます。





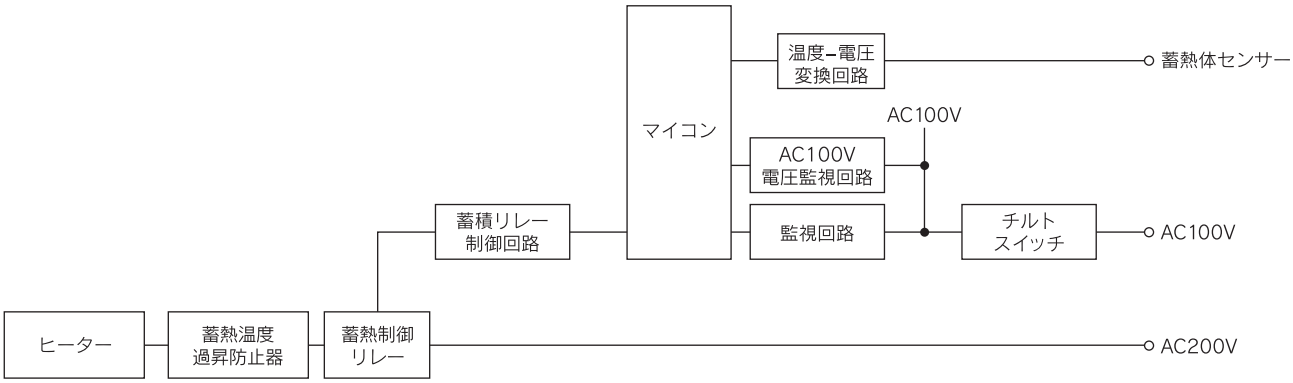

※ヒーターを上げ、レンガを左から入れて、
右にずらすようにしてセットします。

## ❿再組み立て

組み立て前に、動作チェックシートに従って、チェックをします。※17ページ参照。

> ⚠ 取り付け工事後、初日の運転は、必ず窓を開けて換気してください。

# 16. 取り付け電源接続（電気回路図）




**■バックアップ電池について**　バックアップ期間は約5年です。
停電時や100V電源が切れた場合、設定が保持されます。

# 17. 安全装置

**■温度過昇防止器**
機械室の制御盤を熱から守り誤作動を防ぎます。117℃で作動。200V回路を遮断し、手動で復帰します。

**■転倒時電源遮断回路**
地震などで本体が15°以上傾くと作動し、100V回路を遮断します。自動またはリセットで復帰します。

# 18. 動作確認チェックシート

| チェック項目 | チェック欄 |
|---|---|
| ①機器本体と壁・家具・カーテン等との離隔距離は十分に確保したか | |
| ②転倒防止金具は確実に取り付けられているか | |
| ③断熱材・レンガ・碍子等に破損はないか | |
| ④内外部とも清掃は十分なされているか | |
| ⑤絶縁抵抗計にて絶縁の確認　1.0MΩ以上である | |
| ⑥100V通電をして動作確認 | |
| ※現在時刻等の時刻設定は間違いないか | |
| ※残熱量を最大にして追焚きボタンを押すと蓄熱中LEDが点灯するか | |
| ⑦200V通電して動作確認 | |
| ※クランプテスターにて電源ケーブルの電流値を計測 | |
| ⑧200V電源がない場合、テスターにてヒーターの抵抗値を測定 | |
| A　LMS-1575HJ-G　76.2Ω　±5% | |
| B　LMS-2361HJ-G　50.8Ω　±5% | |
| C | |
| ⑨作業場所の清掃等片付けは大丈夫か? | |

## 19. 施工工具・検査機器

［施工工具］
●プラスドライバー　●スタビードライバー　●圧着ペンチ（E型スリーブ・裸端子用・ファストン）
●スパナ（モンキースパナ）　●はさみ（ニッパ）　●ナイフ（カッター）　●ラジオペンチ（ペンチ）　●ハケ　●ウエス
●ビニールテープ・ガラステープ　●圧着端子・圧着スリーブ　●掃除機・ほうき　●敷き物（毛布等養生できるもの）

［検査機器］
●絶縁抵抗計（メガー）　●クランプメーター　●回路計（テスタ）　●スケール　●水準器　●放射温度計

## ■無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
(1) 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
(2) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の損傷の原因がある場合
(3) 消耗部品の劣化に伴う故障および損傷
(4) 本書の提示がない場合
(5) 本書に取付日・お客様のお名前・取扱店の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または当社にお問い合わせください。

| 年 月 日 | 損傷と処置 | サービスの担当者 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |

■ 本 社（施工技術・負荷計算センター）
〒011-0911　秋田県秋田市飯島字砂田33-12　TEL 018-845-3303　FAX 018-845-3313

■ 製造者　大栄E&B株式会社 ／ DAEYEONG E&B CO., Ltd.
（韓国・ISO9001および14001認証取得）

■ お客様お問い合わせ先　0120-78-4511
※9:00-17:00以外の時間帯は、留守番電話での対応となります。

■ ファクス情報センター　FAX 018-845-3313

■ ホームページ　蓄熱暖房機.jp（日本語ドメイン）

■ 本社 ／ E-mail　lassele@gol.com

取扱店

# えこだんラッセルをご使用のお客様へ

## 蓄熱電気暖房器を安全に、長くご使用していただくためのお願い。

えこだんラッセルを長くご愛用いただきありがとうございます。
ご利用中の皆様からお問い合わせの多い事項をまとめました。
必ず目を通していただき、安全に、より快適にご使用いただきたくお願い申し上げます。

## 安全装置について

蓄暖は火を使用しない安全な暖房器ですが、内部は高温（約600℃）になるので、各種の安全装置を装備しております。
一部、主な安全装置についてご説明いたします。

**①温度過昇防止器**　　：機械室の制御盤を熱から守り、誤作動を防ぐための安全装置。
**②吹出口温度過昇防止器**：吹出口や機械内が高温になるのを防ぐための安全装置。

②は自動で復帰しますが、①はPSE法（電機用品安全法）でメーカー点検後の手動復帰となっております。
①の装置が作動しますと、200V電源を機械内で遮断するので機器が熱くなりません。
朝、いつもより蓄熱量が少ない、安全装置が作動したかな?とお気付きの場合は、早急にご連絡ください。

**特に天板の上や前面に物を置いたり、洗濯物を被せたりすると①②の安全装置が作動します。**
**火災の原因にもなりますので、このような使用は絶対におやめください。**

その他、安全装置についての詳細や、すべての装置につきましては、取扱説明書P.17をご覧ください。

## 臭いについて

設置初期の蓄熱時に、内部部品の湿気の影響により、臭いや煙の発生が見られる場合がありますが、異常ではございません。

数シーズンご使用の後に、ゴム、プラスチックの溶けるような臭いをお感じになった際は、念のため下記のフリーダイヤル（0120-78-4511）まで、お気軽にご相談ください。

## 音について

蓄熱暖房器は性質上、以下のような音がする場合があります。
音が発生した場合でも、異常ではありませんので、安全には問題ありません。

**①蓄熱を始めた時**：
ヒーターに通電開始する「カチッ」のスイッチ音。
**②蓄熱中・蓄熱終了後**：
熱が上がる時、冷める時、パネル収縮・空気膨張のための「ポン」、「ボン」などの音。

## メンテナンスについて

いつもと違うなと思ったら、販売店または、「お客様お問い合わせ先」のフリーダイヤルまでご連絡ください。
万が一の時には、メーカー専門スタッフが修理に訪問いたします。

**お客様お問い合わせ先: 0120-78-4511**（9:00~17:00）上記時間外は留守番電話での対応となります

製造元
大栄E&B株式会社

輸入・販売元
えこだんLASSELE ラッセル販売株式会社